

日産車体株式会社  
2022年度  
第1四半期決算説明  
(2023年3月期)



# 決算サマリー

新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され経済社会活動が正常化に向かう中で、景気の持ち直しの動きが見られたが、当社グループを取り巻く環境は、半導体不足の影響や中国における新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等により、生産活動が制約された結果、前年同期比で減収・減益となった。

**売上台数** 主に商用車が減少したことで、13.5%減の26千台

**売上高** 「インフィニティQX80」等の乗用車の売上が伸びたものの、自動車全体で台数減少の影響を大きく受けたことにより、15億円減少の550億円

**営業損益** 売上台数の減少等により、18億円悪化の17億円の損失

**経常損益** 17億円悪化の15億円の損失

親会社株主に帰属する四半期純損益 12億円悪化の11億円の損失

2022年度 第1四半期 決算 <累計>

# 業績ハイライト

単位:百万円

	2021年度 第1四半期 (2021/4~6)	2022年度 第1四半期 (2022/4~6)	増減額(率)	通期計画
売上高	56,577	55,063	▲ 1,514	314,300
営業損益	50	▲ 1,760	▲ 1,810	9,500
経常損益	151	▲ 1,590	▲ 1,741	9,900
親会社株主に帰属 する四半期純損益	178	▲ 1,111	▲ 1,289	6,400

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、当該会計基準等の適用により大きな影響の生じる売上高は、対前年同四半期増減率は記載していません。

# 品目別売上高構成比

## 小型バス

2,792百万円  
5.1%

## 自動車部分品等

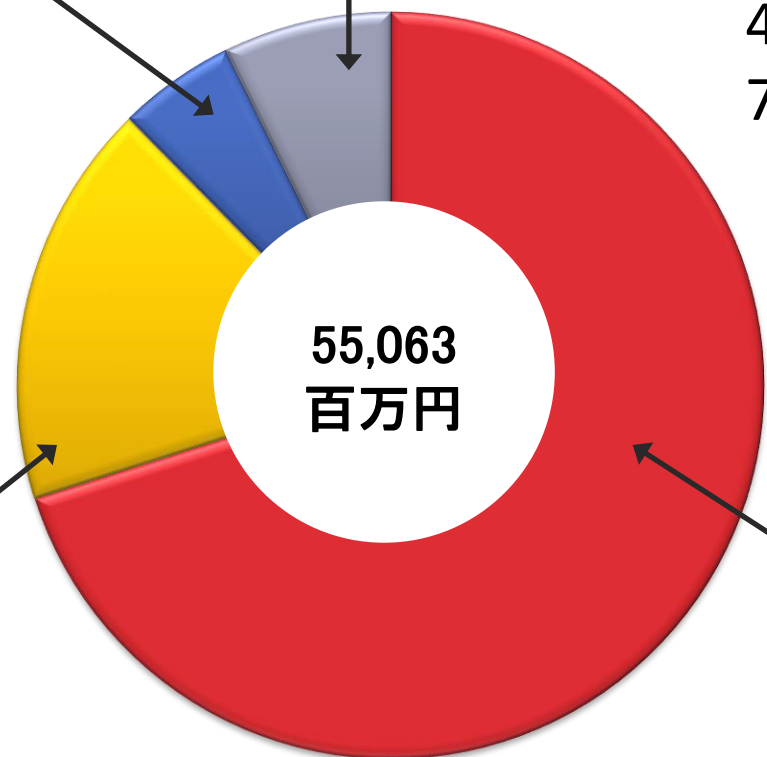
4,007百万円  
7.3%

## 商用車

9,664百万円  
17.6%

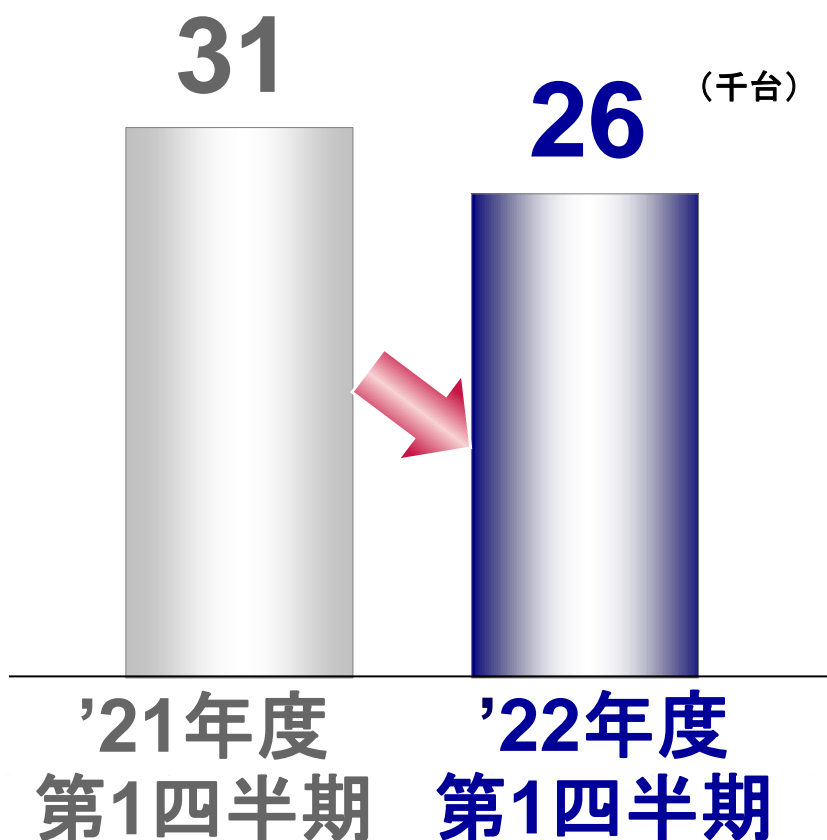
## 乗用車

38,598百万円  
70.1%



# 売上台数

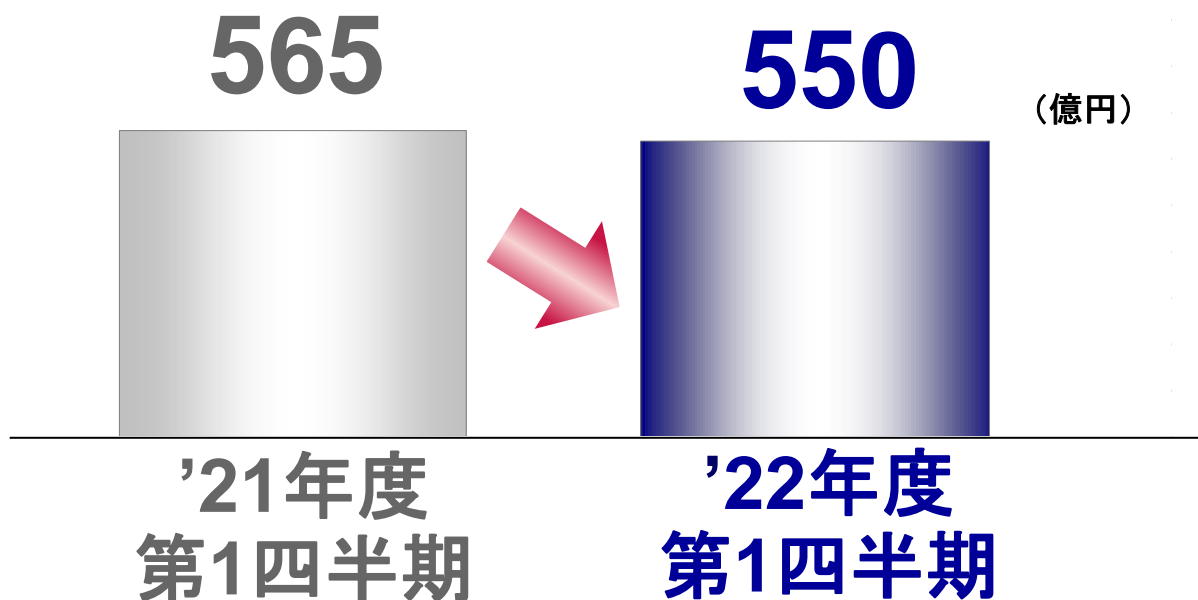
主に商用車が減少したことで、13.5%減の26千台



	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	16	15	▲4.2%
商用車	13	9	▲34.8%
小型バス	1	2	95.1%
合計	31	26	▲13.5%

# 売上高

「インフィニティQX80」等の乗用車の売上が伸びたものの、自動車全体で台数減少の影響を大きく受けたことにより、15億円減少の550億円



# 営業損益／経常損益

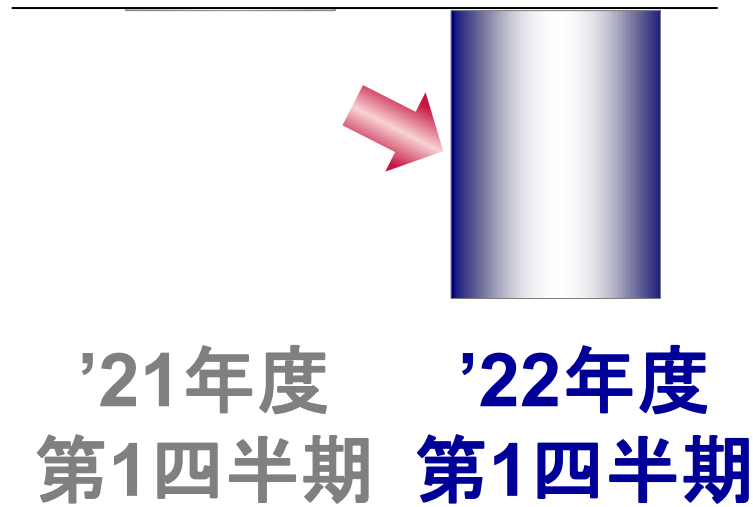
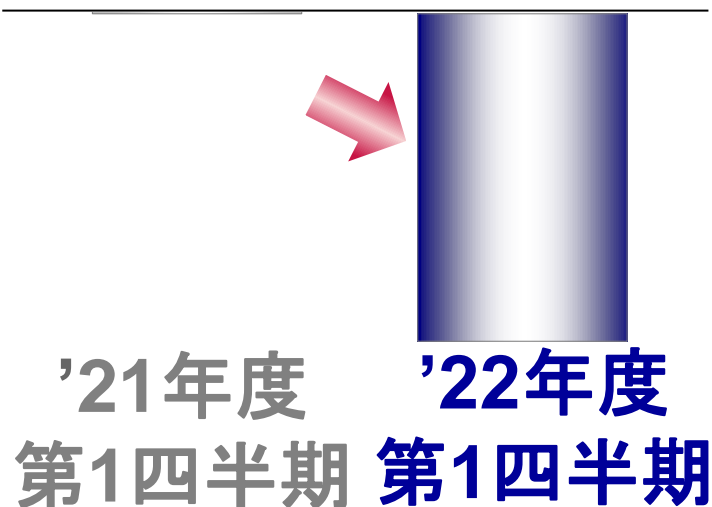
営業損益は売上台数の減少等により、18億円悪化の17億円の損失  
経常損益は17億円悪化の15億円の損失

営業損益 (億円)

経常損益 (億円)

0 ▲17

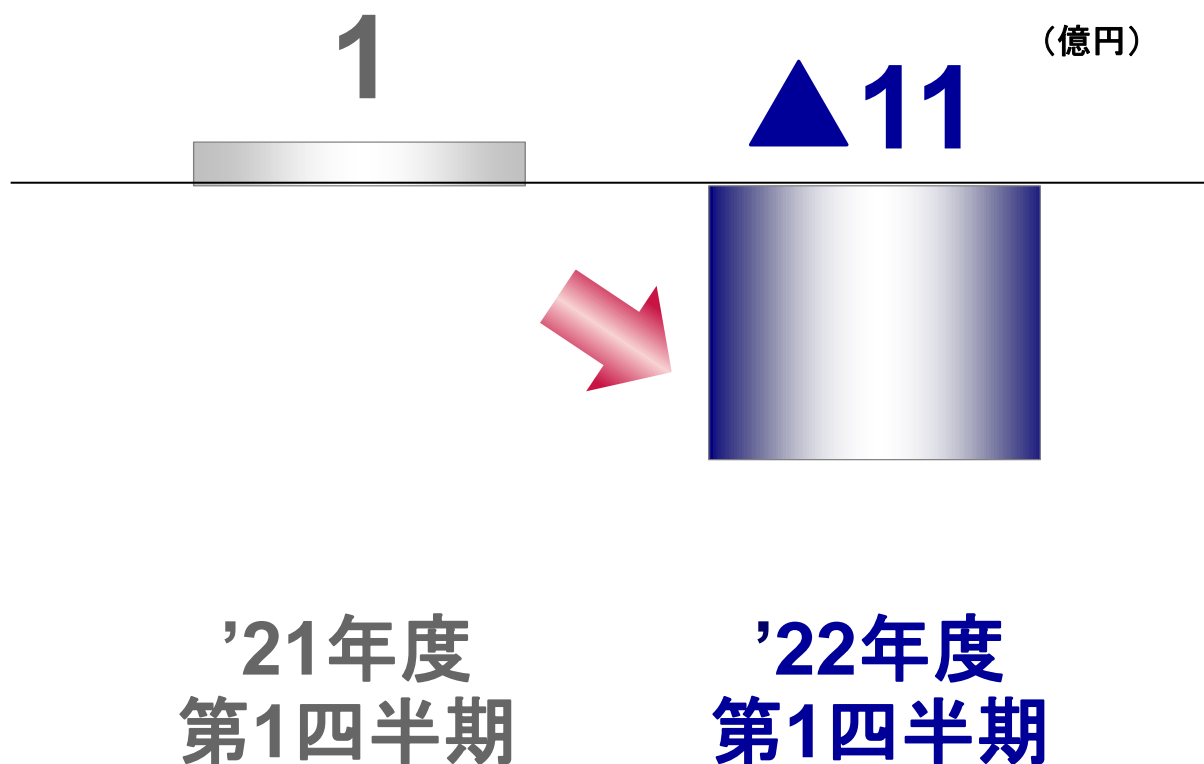
1 ▲15



2022年度 第1四半期 決算 <累計>

# 親会社株主に帰属する四半期純損益

12億円悪化の11億円の損失





# 株主還元

継続的な安定配当を基本とし、年間13円を予定

■ 中間配当金 ■ 期末配当金

